

(別添 4)

【五ヶ瀬町】 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本町では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現において「ICT 機器の効果的な活用」を目指し、GIGA スクール構想により整備された ICT 環境のもと、研修や授業研究等を行い、1人1台端末の効果的な利活用を推進してきた。

今後は、学校教育を中心として進めてきた五ヶ瀬教育ビジョンの継承・発展とともに、「Society5.0」に対応する取組を推進し、以下のような児童生徒の学びの姿を目指す。

まず、「個別最適な学び」の実現に向けて、児童生徒は、1人1台端末を通じて、個々の理解度や学習ペースに合わせた、1人1人の児童生徒の実態に応じた学習計画に基づいて学びを進めるものとする。また、「協働的な学び」の実現に向けて、自校はもとより、他校の児童生徒とオンラインでつながることで、多くの他者の考えに触れ、自己の考えを広げ深めることができるようにする。合わせてグループワーク等を通じて、これからの変化の激しい社会を生き抜くうえで必要とされる非認知的能力の育成を図る。

2. GIGA 第 1 期総括

令和 2 年度に町立小・中学校 5 校に 225 台の 1人1台端末を整備しており、各学校の通信ネットワークの整備を行い、全小・中学校において大容量通信ネットワークを含めた ICT 環境の整備が完了している。また、令和 5 年度にクラウド型グループウェアを導入し、町立小・中学校全教職員及び児童生徒にアカウントを付与することで、クラウド環境も整備している。これら ICT 環境の整備に加え、町教育委員会としては、学習支援ソフトの効果的な利活用に係る教員の研修の実施、遠隔合同授業を試行的実践など、教員の ICT 活用指導力の向上に努めてきた。

課題として、ソフトウェアの機能の発展速度に対して、教員の研修機会が限られていることが挙げられる。また、児童生徒の発達段階や障がい種に応じた効果的な活用のあり方については、引き続き研究を深めていく必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

本町では次の 3 つの視点で利活用を推進していく。

(1) 1人1台端末の効果的な利活用

授業や家庭学習といった学習機会だけではなく、家庭と学校をつなぐツールとしても 1人1台の効果的な活用を推進する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

個々の理解度や学習のペースに合わせ、児童生徒の実態に応じた学習計画に基づく学びのさらなる充実を図る。また、これまで集合学習で行っていたものをオンラインによる遠隔学習も加味することで、協働的な学びの充実を図る。

(3) 学びの保障

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒に対して、実態に応じた支援を実施し、1人1人の学びを保障する。